愛國婦人會機關

愛國婦人

每月十日廿五日發行

（定價）一枚金參錢 一ヶ月分六錢 三ヶ月分拾八錢 半ヶ年分參拾六錢 壹ヶ年分七拾貳錢 全國無郵送料 郵券代用（壹錢又は五厘切手）一割增
廣告料五號活字一行四拾錢

發行所 東京市麴町區下二番町三十七番地 大日本女學會內 愛國婦人發行所
發行兼印刷人 山澤俊夫
編輯人 手島益雄

社說

會員方の健康を祈る

「人は死するに非ず自殺するなり」と云ふ格言があるが、實に天壽を完うして終る人は少なく、大抵自分の不養生から健康を害して夭折する者が多い。元來動物は發育期の六倍位は生存するものであるといふが、人間は他の動物の割合と大に相違がある。二十歲までを發育期としても、百二十歲まで生存すべき筈であるが、實際百歲まで生る人は、殆んど例外とも云ふべき程である。

單に不養生のみならず、不注意に基く死亡も亦澤山にある、即ち傳染病に罹るのは、不注意からが極めて多い。八種傳染病、即ち虎列刺・腸窒扶斯・赤痢・實布垤里亞・發疹窒扶斯・痘瘡・猩紅熱・ペストの中で、年々最も流行の烈しいのは赤痢で、多い年には二万三千人、少くも一万人以上此病で死亡する。其次が腸窒扶斯で、大抵赤痢の半分位、毎年五千人以上死亡する。然るに是は如何なる風に傳染するものであるかと云ふに、此赤痢と腸窒扶斯と虎列刺とは、其病毒が口に入らぬ以上は決して傳染するもので無い。されば生物を食はず、生水を用ゐさへせねば、病毒が口に入る心配はないのである、即ち食料や水に病毒が混じて居ッても、一度之を煮れば其病毒菌が殺されてしまふから、最早害を爲し得ないのである。故に能く煮たものを食べ、煮立てた水を用ゐ、即ち食器を洗ふにも、嗽をするにも、手を洗ふにも、生水を用ゐぬ事にすれば、縦ひ近隣に流行して居つても大丈夫である。斯樣な譯のものであるにも拘らず、年々流行の跡を絶たないのは、全く人々の不注意に基くので、とりもなほさず不注意の爲に自殺するのである。時まさに流行病の勢を逞しうせんとする季節に向ふから、一言所感を陳べて會員方の健康を祈る。

◎女子と美術

島田三郎

本篇は島田氏が女子美術學校に於ける演說中の數節なり。假りに項を分ちて閱讀に便す。文字の責は記者に在り。

○美術は公共的のものなり　今代に於て美術の敎育が行届いて來たと云ふことは、甚だ愉快の事である。私は此の美術の事ばかりでなく、總ての社會の發達から議論を立てゝ見ると、大勢の人が皆な樂しむことが出來ないでは、美術なども發達したとは云はれないと思ふ。大勢の人が非常に不愉快を取つて、一方の人が其愉快を獨占して居る時代に於ては、假令一時は流行しても永久に發達しない。我國でも足利時代には非常に美術が發達して居つたが、其後に段々衰へて來た。それは足利時代の美術は其時の少數なる地位のある威權の高い人だけが味ふ爲に成立ッて居ッたのであるから、足利氏の衰へると共に美術も衰へることになッた。故に永久に美術を發達せしめんには、どうしても一般の國民が平等に其耳目を樂ましむるものでなくてはならぬ。

○美術の素養なくば淑女にあらず　性情が賤しく清からぬ人であッて、財產が餘りあつたらどう云ふ風になるかと云ふと、必ず其身を惰弱に持崩して、下等なる慾念の方に財產を使ふてあらう。若しこの時其人が美術の敎育を受けて居つて、美術の思想が高かつたならば、下等なる慾念を變じて高尚なる性情に導く事が出來るであらう。物質上で、家も立派なり衣食も乏しくない生活の時代に、美術の觀念がなかッたならば、唯豊かなる野蠻國であるのみで、眞正なる文明國ではなく、其國には紳士の資格あるものもなく、淑女の資格あるものもない譯である。今代に於て斯く美術敎育が盛大であれば昔のやうに、貴族にあらざれば美術の智識を受けることが出來ないと云ふのではなく、又少數者の娛樂に供する美術が現はれるのみではなく、一般の幸福を形の上に寫出すことが出來るであらうと思ふ。故に今日の如く婦人が美術に心を寄するもの多きときは、自己に在ッては自然に其精神を高尚にし、一家に於ては美の觀念を發達せしめ家庭の樂を增すに至り、延いては一般國民の性情に善美なる影響を與ふることゝなる。

○美術に依て婦人の位置を高むべし　中等以下の婦人に就ての生活を論じて見ると、私は極めて平等を悅ぶ方であるから、人類として男子婦人の區別がないと思ふ。男子の爲す働きも一方に必要であれば、婦人の働きもそれと同じ分量を以て其働きが必要である。學者が文筆を以て世を開拓し武夫が武力を以て世の波瀾を鎭めるのも必要であるが、武夫が學者より貴いと云ふことがないと同じ樣に、婦人の地位や働きの領分は男子の領分より狹い所もなく低い處もない。人類平等に分業の觀念を以て、男子も婦人を見なければならぬ。併しながら歷史と國の成立の關係から今日の所では、悲しむべし、男子と婦人と同じ位置を占める程度に至つて居らぬ。そこで英米諸國の如く婦人が異の文明を產出する樣にならなければならぬ。それには婦人の爲す領分を高尚にし其働の必要の度合が男子の働きに減せぬだけの力を示したならば、婦人自ら其位地を高めることが出來ると思ふ。婦人の位地を引上げるについては婦人自から其位地を高めることを社會に迫らねばならぬ。それには自分の身を以て社會に必要視せらるゝものとならねばならぬが、其方法としては美術工藝界を開拓して世の文明を導く事に努むるが最も適當であらうと思ふ。

會長 公爵夫人岩倉久子筆

月夜逐凉　相談役 公爵 二條基弘
さしてゆくかたはなけれと夏の夜の
月かけふみて凉みつるかな

評議員 侯爵夫人 鍋島榮子
夕月夜すゝみかてらにたちいてゝ
まつおとつれぬ川つらのやと

評議員 男爵夫人 千家俊子
いつこにか足をとゝめむこゝもよし
かしこも凉し夕つきのかけ

夏山　評議員 侯爵夫人 鍋島榮子
みやこよりとひくる人のたえぬかな
なつをよそなる山のいほりは

夏澤　會員 侯爵母堂 前田朗子
梅雨にみかさまさりし野さはにも
すゝしくさけるかうほねの花

夏橋　評議員 子爵夫人 田中伊與子
かせわたるはしの袂のやなきかけ
凉みてゆかんしはしなりとも

浦蚊遣火　評議員 子爵夫人 本多延枝子
もしほやく煙とたれもおもふらん
浦のとま屋に立てる蚊遣を

曉螢
しのゝめの露かと見れば草村に
やとるほたるの光りなりけり

寄糸述懷　評議員 加納須磨子
色いとのさむるを見ても又さらに
こゝろのゆるひあやふまれつゝ

雨中郭公　評議員 中山幸子
さみたれのけふしもやますふる雨に
こゑもしめりてなくほとゝきす

雨後郭公
さみたれの雨もをやみてほとゝきす
はれたる空にひとこゑもがな

郭公
ふつくゑのもとをはなれておりたゝむ
庭に一こゑほとゝきすなく

電話番町壹千三百三十番

◎本號附錄には評議員男爵夫人大迫とき子石川支部幹事長村上須磨子富山支部幹事高廣さつ子の肖像を掲ぐ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

論説

◎家庭と音樂（承前）

東京音樂學校長　大島義脩

それて家庭といふものは、人間の生活に於て非常に重んずべきもので、或意味に於ては、人生の幸福といふものは家庭の內に籠められて仕舞ッてをるといふとが出來るし、殊に婦人に取ッては、婦人は家庭の女王と云ふ樣な位置に在ッて、家庭と云ふものは婦人の働き塲でもあるし、又婦人の生命を寄する所であるだらう。けれども、其樣な理想的家庭といふものを、現在及び將來の社會に於て、實際上どれほど求めらるゝとか。是に於て私は最も悲むべき社會の現狀を隠さず申さねばならぬ。圓滿なる家庭の團欒は私共の最も望む所であるが、それは種々の方面から迫害を受けてをる。まづ父母妻子が揃ッて居て、缺陷もなく、煩累もない家といふものが幾許ありませう。其稀にあるのは極めて幸福なる例外ではあるまいか。兄弟姉妹の揃うて居るのも、幼少の間のみで、やがて別れる運命をもッてをる。別れるべきものが長じて迄も別れずに同棲して居れば、これはまた調和を缺くものとなる。また男といふものは外の仕事が大變に多く、それで家を離れるといふ樣な塲合も多い。或は事業の爲に遠く離れて、永く歸らぬといふ樣な必要もあるし、或は若いものが學問の爲に遠方へ行くとがある。さう云ふ樣なとからして、同じ家族が同じ家の內に、朝夕共に住んでをるといふ機會が、餘程減少されて來る。のみならず、商工業其他の發達に伴ッて、事業が繁多になれば、例へば工塲に居る職工とか女工とか、又は船に乘り込んで居る水夫とかいふ樣な、殆ど家庭の味を知らずに過ごすものが多くなる。さういふ風で、社會の進むと共に生活の困難が伴ッて、圓滿なる家庭を見るとが出來ない塲合が澤山になる。其故に何でも小い家庭といふものが、浮世の風波の唯一の避難所であッて、それに賴らなければ、我々の慰みも幸福も得られないと云ふ樣な仕組になッて居ッては、其慰み及び幸福に洩れる人が澤山になッて來て、世を寂しく味氣なく思はせるに至らうと思ふ。或は富豪とか貴族とかいふ樣な裕福な所では、他の事情の爲に家庭の團欒を妨げるといふ樣なとは無からうし、又下賤なる勞働者でも一日の役を終ッて、家に待ち受けて居る妻子と晩食を共にして、營々の苦を忘れるといふ美しい境遇のあるものはあらうが、多數のものに取ッては、極固定した家庭の團結といふものを見るとは、寧ろ難いといふ樣な事情がだん／＼に增して來るだらうと思ふ。乃て所謂今の家庭といふものを離れて、もッと人が廣く大きく團結して、互に慰めもいたはりもする樣にだん／＼出來て來なければならぬと思ふのです、私は決して家庭の貴ぶべきとを低くは見ない。殊に激烈なる世間の戰爭に疲れたものを休め、その勝ち誇ッてをる者の張りつめた氣を弛るめ、敗れたもの、萎れ返へッた心を引き立てるに力あるものは、家庭に越したものはないと思ふ。けれどもそれだけ家庭の幸福を受け得られぬものを救ふことは大切ではないかと思ふのです。さういふやうな方便としても、美術といひ音樂といひ、凡そ人の娛樂に供するものが小い範圍に限られずして、範圍を擴げて社會公衆を眼中に置くと云ふやうな風になッた方が、餘程よからうと思ふ。其故西洋音樂といふものが今の日本の家庭に這入り難いといふやうなことは、私は許すとしても、西洋音樂を日本に入れるとが缺點にはなるまいと思ふのである。

婦人は音樂に關して特別の趣味をもッてをるのか、或は特別の伎倆をもッてをるのか、或は婦人の地位が殊に音樂を嗜むについて便利をもッてをるのか、とにかく音樂といふものは婦人に附物といふ風に見られてをる傾きがあると思ふ。現に私の關係してをる音樂學校でも、女生徒の方が男生徒より遙に超越してをる。で、私は男子が音樂をやるのが惡いとは決して思はないし、否寧ろ音樂の進歩發達普及といふやうな事については、男子の力を待つとが多くて、男子が之に對して趣味をもち、力を盡すとが十分でなければ、決して大なる好い結果を見るとは出來ないと考へてをるのである。然しながら男子は此煩雜なる世界に於て、多くの任務を持ッてをるし、事業の種類も多いからして、音樂のとについては、又婦人に望み且つ待つ所が甚だ大きくなければならぬ。さういふ風に婦人に望む所があるとすれば、私は前に申すやうな社會的事業といふやうな事を、今の婦人に向ッて責めやうと考へるのではない。故に私の言ふ所を誤解されては困る。家庭に入るとが出來なければ眞の音樂ではないといふやうな事に對して、私は社會的音樂といふ樣なとを言ふけれども、確に音樂の如きものは家庭の融和を圖り、又家庭の內からして、一般の人の趣味を高めるといふ所の最大切なものであらうと考へる。故に家庭に於ける音樂の趣味を廣めるといふとについては、特に婦人の力を待つ所があるのです。

（未完）

◎女子と職業

文學士　下田次郎

近來我國に於ても女子にして職業を求むるもの多く、此程電話交換局が三人の事務員を募集したるに之に應じたるもの三百餘名あり。又三井呉服店が女子の店員を募集したるに五百餘名の應募者ありたりと云ふ。因つて記者は歐洲に於ける女子職業の狀況について、下田文學士の意見を求めし處、左の談話を得たり。校閲を經ざるにより誤謬りの責は記者にあり。

學術が未だ進歩しないで其應用が十分で無かッた頃には、今日の機械力の代りに腕力を用ゐる必要があッたから男に斗り出來て、女に出來ない仕事が隨分あッたが、機械が應用され其他文明の利器が益々應用されるに隨うて、腕力の競爭は變じて智力の競爭となッて來たから、頭さへ使へば男女の差別なく出來る仕事が多くなッた、從ッて女子が種々な職業に從事する事となッた。併しながら果して女子が是等の職業に適當でありや否や、其身躰上に影響はないか、否かと云ふ事に付いては大略の推測はつくが多くの職業に於ては未だ確な事は云へないのである。併し其中でも早くから女子を使用して割合に其職に於ける女子の能不能及び其業務が女子に適するや否やがよく知れて居るのは、郵便事業である。外國では郵便事業に隨分女子を使用して居るが、近頃或書物を讀んだ中に外國に於ける女子と郵便事業の事があッたから茲に之を紹介しやうと思ふ。

之れは英國の經驗であるが、女は計算をしたり其他機械的の仕事例へば爲替の取扱ひ、郵便の貯金電信の受授郵便の樣子を知らぬ人を導く等の事に於ては、女子の方が男子よりよいと云ふ人がある。女子は一躰几帳面で、金の取扱も念が入る、話しもうまくて辛抱强いものである。英國の西部の地方では電信事業は全部女子が取扱うて居るが、甚だ完全にやッて居るとの評判である。そこで或る大なる地方局に於ける經驗によると、女子は男子と同じ樣な聰明と精密とを以て電信事業に從事して居る。併し文字の書方は一般に上手でない、且又進んで電信に關する學術上の智識を得んとする希望は、男子程に持ッて居らぬが、其他の郵便事業に於ては女子は成功して居るものと認められて居る。又仕事の上に於て不注意であるとか、取扱が無禮であるとか云ふ公衆からの非難は女子が仕へて居る局では男子より少ない、女子は机上の器械の整理がよくて、躾に骨が折れぬ。又金錢に對しても間違ひが少ないので、一般に普通の常務を執る塲合には、男子同樣に仕事を早くするやうであるが、併し非常な仕事の塲合又は一層むづかしい仕事に出遇っては、女子は之に耐へる力が少ないから、男子と競爭して往く事が出來ぬとの話である。

次の報告によると、繁多なる本局の計算方として引續いた仕事をするには、女の力は不十分であるから、男子の補助が入用である。又女の電信掛は通常の時は其職務を滿足に行ふが、非常の時には間違の比例が男子より多い。且つ機械室の仕事に關しては女子は可なり多忙な局でも、男子程役に立つ。然し尤も多忙な局では、男の電信手が必要である、殊に新聞の電信には別してさうである、何ぜかと云ふに其仕事は女子に取ッては餘りむづかしくして、之を早く書かうとするには、女子の手頸の力が不足して居る、尚多數の寫しを同時に取るには、どうしても力が不足して居る。又一の理由は新聞の方は一般に公益上の利害に關する事柄が多い、之れ等の事柄は男子の才能に依ッて常に心懸けて居るから、男子の方が便利である。次に監督者としては機械室を常に歩み回る必要があるが、夫れは女子には出來ぬ。

以上種々な經驗によると、大略次の樣な斷定を下す事が出來る。即ち女は躾をするには便利である、又容易な仕事は男子に勝ッて居る、併し身躰の申分が男子より多き故に缺勤が多く、骨の折れる仕事の時には直ちに疲勞を感ずる故に、男子より才能或は學術上の熱心が劣る樣てある。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

◎露國見聞談

林學士　道家充之

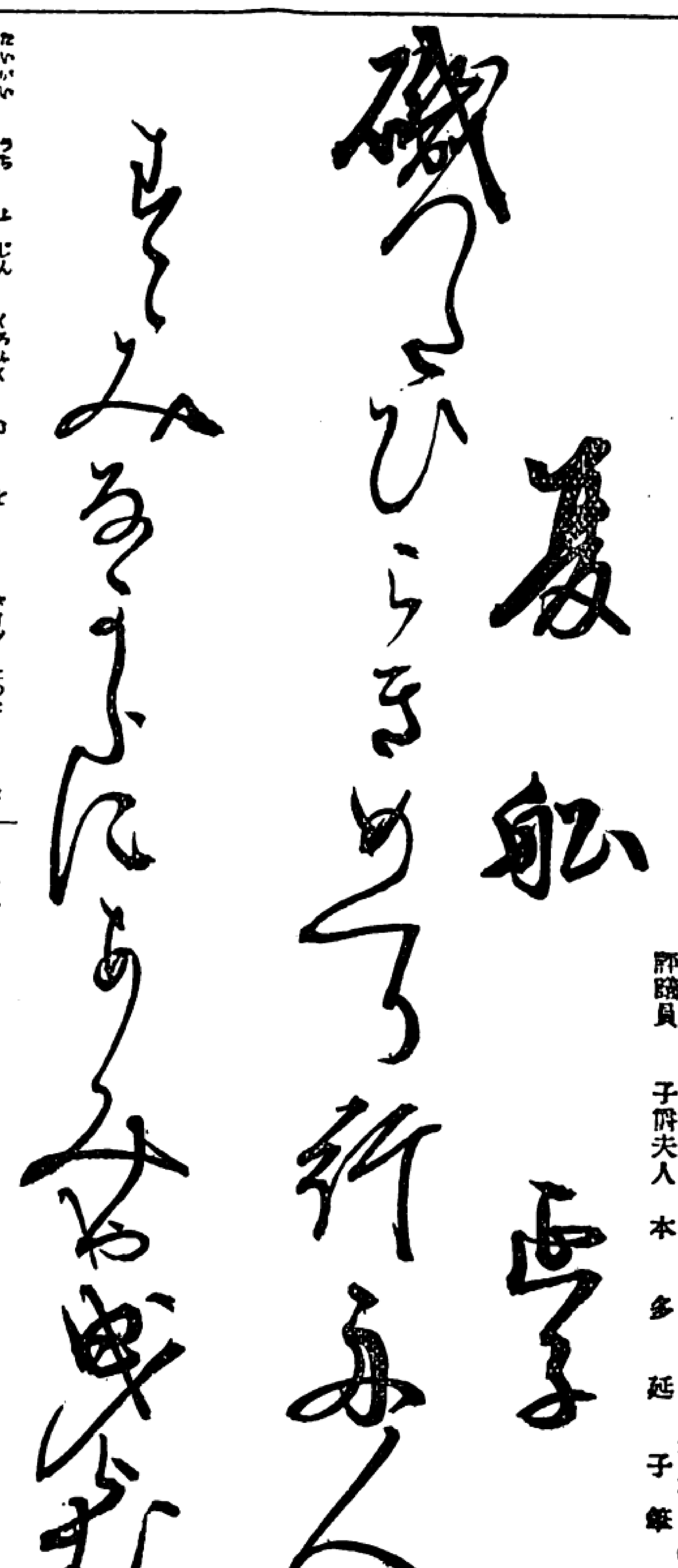
本篇は曩に森林に關する取調の用務を帶びて露國に赴き、各地方を巡回して、客月廿八日歸朝せられたる道家林學士の談話の梗概なり。文字の責は記者にあり。

○日本に對する露國の民情　私は森林に關する取調べの官命を帶て昨年四月露國の首府に入り、暫く滯在の上同國森林の狀況を實地に就て取調べ滯在中獨逸にも遊び此の程歸ッた次第であるから、婦人とか又社會とかに關する事柄に付ては十分に御話は出來ないが、露國に關する大躰の御話を致さう。夫れに先達て日本に歸ッてから聞く所によれば、現今日露の關係は甚だ穩かならぬ風聞があるやうであるが、露國の方は誠に靜かなもので、一向左樣な模樣は見えぬ。殊に日本人が露國を思ふ程露國人は日本を思うて居らぬ。あちらの新聞などでも時々日本の事を書くが、二號活字で以て書く樣な事もなく、又是等の記事に對しても、官民共に注意を拂ッて居らぬ。何しろ露國の首府には、目今日本人が僅に二十人斗り外には居らぬから、日本國が露國に十分に知れて居らぬ。只日英同盟したと云ふ事だけは非常によく知れ渡ッて居ッて、露國と英國とは元來非常に仲が惡い國であるから、日英同盟したのは露國人は非常に嫌に思ッて居る位の事である。夫れてあるから、日本が強い國であるか、何程の陸軍を備へて居るか、海軍は如何に整頓して居るか等の事に付ての智識は、當局者の外は一般露國人にはない樣である。自分は最も近頃まで露國に滯在して居ッたが、頗る平和な有樣に見受けて居た。

○露國人は親み易し　日本人は露國人に對しては、何んだか恐い樣に思うてあらうが、交際して見るとさうでない、中々親み易い國民である。獨逸人英國人あたりよりも親み易いやうに思ふ。一寸した例が、汽車に乘ッても、露國人は見も知らぬものでも、必ず言葉を先方から掛けて話を仕掛けると云ふ有樣である。言葉の通ぜぬ時などでも懇切に敎へて與れる。西比利亞鐵道などに對しても、日本では危險なとか云ふ風說もあるさうであるが、決してそんな事はない。露國民は流石に大國民たる態度があッて、日本人を嫌ふ樣な事はない。又物質的文明は日本より餘程進んで居ッて、露國の首府たるセントピーターズブルグは、未だ都を移してより以來百年立たないが、中々繁華なものであッて、家屋の壯大なる、道路の淸潔なる、公園の立派なる等、日本の比ではない。

○露國の軍人　露國は軍人が貴ばれて居て、文官と雖も少佐相當官とか少將相當官とか云ふ風に本位を武官に依ッて定める程である。兵卒の身躰は、日本兵よりは勿論大きいが、何んだか締りがない樣に見える。最も勇敢に見受けるのは、コサク騎兵である、露國の軍隊の粹は此騎兵であらう。軍人を貴ぶの結果軍人志願のものが多く、從ッて敎育が不十分であッて、青年士官などが軍服の儘、魔窟に出入したり、料理屋で亂暴したりするものが多いやうである。

○露國の婦人　露國婦人の裝飾は餘程質素で、大概の家の婦人は黑服を着て居る。獨逸其他の國の婦人の樣に赤いものや、靑いものや、模樣の這入ッた衣服は餘り着て居らぬ、夫れは經濟が許さぬからでもあらう。露國の物價は非常に高くて、獨乙當りの十倍である、故に婚姻費用が多分にかゝり、未婚婦人か非常に多い。婦人が夫に對する權力は非常なものであッて、或る婦人が私に二つの事を尋ねたとがある、即ち日本では主婦が外出するには、必ず主人の許可を得る事になッて居るかと聞いたから、それは許可を要すると答へた處が、夫れは間違ッて居ると云うた。又日本では夫が妻と散步しやうと要求して妻がそれを聞かぬときは、一人でも出て往くかと聞いたから然りと答へたところが、夫れも間違ッて居ると云ふた。斯樣な風であるから、婦人は自由勝手に社交界にも出るし、社會事業にも立働いて居る、さうして貞節は修まらぬ、又婦人の職業は善く發達して居る、店の出納掛や郵便局員は、大概婦人である。



評議員　子爵夫人　本多延子筆

○露國の女子敎育　露國では近世に至ッて女子敎育が隆盛になッたが、元來專制君主政躰の國であるから、婦人が學問に志し、夫れが爲に革命の源泉を作る樣な事があッては、國家の爲宜しくないと云ふ考へからして、女子には可成學問させぬ樣な事になッて居た。處が、段々女子の勢力を壓伏する事が出來ないで今では女子大學も建てゝあるし、男子の居る大學にも講義を聽く事を許す事にまでなッた。然し色々な事情の爲、今日では男子と同一の大學に講義を聽く事は許さぬ事になッて居る、故に學問に志厚き婦人は獨逸の學校等へ入學して居る。且時々是れ等高等なる敎育を受けたるものが、革命の先鋒隊となッて働くから、國家でも女子の勢力の加はるのを餘程恐れて居る氣味がある。

○露國の慈善事業　露國は他の文明國に比べると、慈善事業などは發達して居ないと思ふてあらうが、中々さうでない。慈善事業は盛なもので、我々外國人も、慈善事業の爲、幾多の金を差出さゝるを得ない仕組みになッて居る。慈善の爲に金を集める工風の發達して居る事は著しいもので、料理屋に於て食卓の下には一人分に一個づゝの慈善函が備へてある。又芝居其他の觀覽切符には、必ず見料の外に、慈善金の金額が書いてあッて、夫れだけは拂はねば這入られぬ事になッて居る。又陸軍の觀兵式も見料を取ッて見せ、其切符代も慈善會の爲にする。又婚禮の時も切符を賣ッて見せ、其金を慈善金に供する。其他慈善的の設備に至ッては、孤兒院が尤も多く且つ整うて居る、貧民給助私生兒敎育等の設備もある。

◎奥村女史に告ぐ

陸軍步兵少佐　伊豆凡夫

亡き妻の喪中に筆とりて女史に告ぐ。予の軍人遺族扶助料增加を主張すると、女史の軍人遺族救助を鼓吹するとは、手段に違ひこそあれ目的同じき爲、相協力して今日に及びぬ。今後愛國婦人會愈々盛大となり、慈善力の增加と共に、一方には法律上扶助料の增額となり、遺族をして安んずる所あらしめんとは益す力むべき所なれども、女史よ、予は大に予の主張力を殺がれたり。女史は嘗て予に向ッて、妻をして愛國婦人會に力を盡さしめよと告げぬ、予は妻永く病褥にあり、需に應ずる能はざるを遺憾とすと答へぬ。女史よ予の遺族扶助料增加を主張する主旨は、言ふ迄もなく同胞幾多の遺族を救ひ、併せて軍人をして後顧の憂なからしむるに在りとは雖、露骨に言はば、予自身斃れたる日に於て、予が妻をして悲境に陷らしむるを恐れたるもの、予の主張の一因なり。然るに今や死すべく覺悟せし予は未だ死せずして、却て他日遺族となるべき妻先づ逝きぬ。女史よ、予が妻は遂に永久貴會に力を盡す能はざるなり、而して予は茲に年來の主張力の張り合ひ拔けぬ、今後は是迄の如き協力は期し難からん。許せ女史、予の身勝手の議論を許せ。最愛の妻を亡ひたる後一週日の夜に於て。

本篇は前號に揭ぐべき筈のところ、紙面の都合により已を得ず本號にかゝぐることゝなりぬ。寄稿者並に讀者諸君乞ふ之を諒せよ。

本紙定價の變更

本紙定價、從來一號に付き金參錢五厘、會員に限り金參錢の所、今般會員たると否とを問はず、一號金參錢に改めたり。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

家政

◎家政要領

家事衛生　食物(つゞき)

味類　總じて穀肉蔬菜ともに其儘にては食すべからず、必ず他の物を以て種々の味を附くるを要す、之を鹽梅と云ふ。鹽梅宜しきを得て食慾を起し、消化液の分泌を促すなり。其鹽梅に用ゐるものを、甘苦鹹辛酸の五味とす。此五味の中甘味は最も人の嗜む所にて甘と甘と同字なるを以ても知べく、殊に糖分は單に味を附くるに止まらず、食物の効用をも兼ねるものなり。味淋酒の如きも澱粉糖を多量に含むが故に料理に適するなり。苦味は通常人の好まざる所なれども蕗薹・柚皮などは料理に用ゐらる。蓋し胃腸の運營を促すの効あるなり。鹹味は味類中主なるものにて人若し鹽に缺乏する時は食慾飢餓といふ病氣を起すべし、即ち消化惡しくなり、筋肉精神共に其作用衰ふるに至る。我國は四邊海なれば斯く大切なる鹽に不自由なきも、其製造は未だ不十分にて其性質不良なるもの多し。凡そ海水中には百分の三、五の鹽分を含めども、眞の食鹽分は二、五に過ぎず。然るに我國の食鹽中には、食鹽分以外の鹽分全く除去されずして、所謂滷汁なるものなど交りありて、空氣中の水分を引き潮解し易く、且つ之を以て直に味噌醬油を造るに適せず。唯燒鹽は多少清淨なれども、未だ西洋の物に及ばず、年々多量の食鹽を輸入するは甚だ殘念なる次第なり。又食鹽は味類として用ゐらるゝのみならず、食物の腐敗を防ぐ效もあるなり。辛味は山椒、山葵、芥子、蕃椒、生姜、胡椒、蓼等にて、孰れも其昔印度地方より傳はれるものなり、即ち印度など熱き國にては胃腸の運營弛み易きが故に、辛味を以て刺衝する必要あるなり。此等のものは揮發油を含み、辛味を有する外に一種の香氣を供ふ。酸味は魚肉中の細き骨を柔かにし、消化し易からしむ。されども其量多き時は蛋白を凝固せしむるの虞あり。すべて酒の變敗したるより製する酢は好ましからず、米一分と麹三分と水三分とにて造りし關西地方の酢は我國に於て善良の品なり。

◎種痘中の注意

東京にて名高き小兒科醫師川村正治氏、小兒に種痘せし時、この注意書を交付せらる。母たる人々の參考にもと茲にかゝげつ。

一、種痘中は極めて清潔の室内に居らしめ、成るべく寒冷を避けしむべし。
一、衣類はなるべく清潔にして垢附かざるを着せしめ、殊に襦袢は毎日着更へしむべし。
一、餘り外出をせしむべからず、殊に多人數集り或は不潔の場所に立入らしむべからず。
一、入浴はせしめざるをよしとす。但し、熱なき時は顏手足を洗ひ、又は半身浴をなさしむるも障りなし。
一、母の食物は餘り脂肪多きものと、不消化物とのほかは障りなし。
一、種痘をぬらし、搔き破り、摩り、或は痂を剝がさしむべからず。
一、發熱餘り強き時、痙攣或は他の腫物等出來しときは醫者の診察をうけしむべし。

◎家計收支の實況

東京市神田　某報知

引續き紙上にて皆樣の家計表を拜見いたし大に有益と存候。私は經濟が不得手にて毎度主人より注意をうけ居候間、皆樣に御覽に入候も恥かしく候へども、現今實行いたし居候所を其儘御目に掛け候間御批評を願ひ上候。

一家族七人夫婦、小供三人(一人は學齡兒一人は幼稚園一人は哺乳兒)下女二人
一金八拾五圓也　一ヶ月分賄費雜費として受取
一金八拾參圓八拾四錢　一ヶ月分支出

內譯

金七圓二拾錢	地代	金參圓	菓子代
金四圓五拾錢	諸税家屋保險料	金參圓七拾五錢	牛乳
金九圓	米代	金壹圓貳拾錢	新聞雜誌
金參圓五拾錢	薪炭費	金六拾五錢	點燈料
金四圓參拾錢	下女給金	金五圓	子供三人貯金
金貳圓七拾錢	雜費	金參圓	主婦小遣
金參圓拾五錢	子供二人小遣及玩具	金五圓	交際費
金參圓貳拾九錢	車代	金貳圓貳拾錢	二兒月謝
金八拾四錢	石油	金六圓參拾錢	衣服費
金貳圓七拾錢	醬油、味噌、茶、砂糖	金貳圓拾錢	備品費
金六圓五拾錢	魚、牛肉	金四圓	青物果物

評　此家計は、主人より賄料として受取られたる金額にて支辨せらるゝにて、切りつめあれば餘裕少きは當然なり。其內にて尙ほ子女の貯金の用意あるいとゆかし。唯願ふは、此主人たる人、一切の收入を夫人の前に投出して、夫婦相與に家計に注意し、以て貯蓄の增進を努められんことを。

◎各地特殊の料理(寄稿を募る)

(三四)　すみづかり

栃木縣宇都宮市　會員某報知

此すみづかりと云ふ料理は、我が宇津宮を始め、近在各地に於て、古來三月初午の日に、各家に拵へる習ひとなり居るものにて、恐らく他國には例のなき異樣なる仕方なるべし。先づ大根の皮を去り、鬼卸にておろし、(宇津宮地方にて鬼卸と云ふは、大根をセンに卸す器具にて、竹もて刄をつくり、最もあらく且つ不揃におろす器具なり。)大根の水氣を搾らず、其まゝ鍋に入れ、別に大豆の煎りたるを盆に入れ、搖りて皮を去り、前の大根に交ぜ、さて、酒の粕と醬油と酢とを加減して入れ、文火にて一日位煮あげるなり。此料理は初午の日の外は決して拵へず、氣候も寒く殊に十分に煮たるものなれば腐敗の虞なく、澤山につくり置きて、數日間總菜に用ゐるを習とせり。すみづかりとは酸味漬りなどの文字を用ゐるべきか、同鄕の姉君達此料理の由來を知り給ふ方は、本誌に投書して教示したまはゞ、嬉しかるべくなん。

(三五)　半夏餅

大阪府南河內　會員某

小麥を搗き水にて能々洗ひ、碾臼にてひき、其粉を篩にかけ、篩を通らぬあらきものを十時間許水に漬け置き、やがて其を水より取出だし、篩を通りたる粉と共に蒸籠にてむし、別に糯をも蒸し、前の小麥の蒸したると同量に交ぜ合せて、常の餅の如く搗き、飯櫃などに入れ置き、食せんとする時適宜に丸め、大豆粉又は餡をつけるなり。すき〱なれども、餡よりも大豆粉の方味よき樣に思はる。此餅は私の地方にて、一年一回、半夏の日に麥と米とを合して之を製し、麥秋の豐なりしをよろこび、併せて來ん秋の稔らんことを祈るなり。半夏の日には已に挿秧も終へて、農家はゆる〱と此餅を賞味す、殊に此餅を食すれば暑に中らぬといふ昔からの言ひならはしもありて、農家に於ける年中行事の一となれるぞをかしきや。

(三六)　瓊脂の紅漬

鹿兒島縣始良郡加治木　會員某

瓊脂を五六分四方、二分位の厚さに斜に切り、又筍の湯煮したるを五分位の厚さに斜に切り、又大根を梅花にむきたるを成るべく薄く切り置き、扨未だ紫蘇を入れざる梅漬の酢を、瀨戶物の器に半分許入れ、生の紫蘇の葉を能く洗ひ、鹽にて揉み、赤黑き汁をよく搾り去り、前の三品と共に梅酢に入るゝなり。今夜拵へ置き明朝食し得べし。紅漬は各地に在るべきも、瓊脂のそれは或は當地の特有ならん。當地にては舊曆五月節句に必ず之を製する習慣あり。

(三七)　うち粉團子

岡山縣備中川上郡　山間の會員

先づ白大豆を洗ひ、乾かして生にて粉にし、金篩といふ粉米を卸す篩にておろし(あらきがよし、)醬油を少し入れて交ぜ、更に水にてかき小さき團子とし、さて味噌汁に筍を薄く切りたると、莞豆とを實に入れて煮たるに、團子を入れて煮るなり。或は此團子に醬油と鰹のだしと、酒と砂糖とを加減して入れ、煮て用ゐてもよろし。山里の料理なれば、都會や海邊の姉君達の御口には合はざるべきも、當地にて田植の折是非用ゐる料理なれば、時節がら思ひつきしまゝをかいつく。

(三八)　長芋の酢の物

青森縣弘前市　會員某

長芋の皮を去り千六本に切り、冷水にて洗ひ(成るべく切目を亂さぬやうに揃へて)玉子を溶き、酒砂糖など加減して入れ、玉子燒鍋にて薄く燒きたるを糸のやうに切り、前の長芋と付合せ、三杯酢にし、淺草海苔をあぶり細末にしたるを振りかけて用ふ。

(三九)　鹿肉の味噌燒

三重縣紀伊國北牟婁郡　會員某

深山住ひの料理こそ、都會の姉君達には珍らしからめとて、一種の料理を知らせ參らす。先づ丼の中へ赤味噌を少し入れ、砂糖を加へ、味淋酒にて少々ゆるめ置き、其中へ鹿肉の良き處を長さ四寸幅二寸厚さ五分か七分位に切りたるを入れ、肉の兩側へ能く味噌をつけ、凡そ二時間許り漬けおきて肉を取出し、指先き又は箸などにて肉に付き居る味噌を落し(洗ひおとしては水の爲に肉の味を損す、)其肉を金串に刺し、弱き炭火にて氣長に燒くなり。能く燒けし時、俎の上にて金串をぬき、肉を小口に薄く切り、暖き中に用ゐるをよしとす。但し此料理は鷄肉にも應用すべし。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

宮廷録事

◎御名代伏見宮殿下　伏見宮貞愛親王殿下は、御名代として第五回勸業博覽會に臺臨あらせられ、襃賞授與式の盛典を擧げさせられ、左の勅語を宣らせ給ひたり。

勅語

第五回內國勸業博覽會出品の審査全く畢るを告ぐ玆に襃賞授與式を擧げしむ朕は成績の殊に顯著なるを嘉みし更に官民の益々奮勵以て產業の繁盛を期せんことを庶幾ふ汝官民其れ之を勉めよ

◎閑院宮殿下　明治三十六年七月一日殿下は第五回勸業博覽會總裁の御資格にて本月一日大阪に於て擧行せし襃賞授與式に臺臨あらせられ、御名代殿下に對し左の奏上文を御朗讀あらせられたり。

奏上文

載仁謹みて奏す第五回內國勸業博覽會出品の審査爰に結了し本日を以て襃賞授與の典を擧行せらる襃賞の數合せて三萬六千四百九十其の中名譽の選に當る者百二十七之れを前回に比するに製品は益々精良に趣き受賞者の數著しく增加したり伏して惟みるに明治十年以降數々內國勸業博覽會を開設して產業奬勵の道を講ぜしめられ物產月に繁殖し國富年に增進し今回の博覽會に至りては最も觀るべきの成績を示せり洵に昌代の慶象と謂ふべし載仁親しく此の大典に列し襃賞授與の榮を荷ふ玆に別冊受賞人名錄を捧呈し恭しく以聞す

明治三十六年七月一日

第五回內國勸業博覽會總裁

大勳位功四級　載仁　親王

愛國婦人會記事

◎長崎縣支部發會式　同縣に於ては去にし四日長崎縣會議事堂に於て、支部發會式及同縣第一回總會を開きたるが、總裁宮殿下よりも御諭旨を賜はり、非常に盛會なりしよし、詳細は次號に讓る。

◎岡山縣支部の景況　奥村刀自の遊說以來、同地方は頗る入會者多き趣きなるが、去月廿八日午後二時高梁町に於ては同地安正寺に常集會を開き、檜垣縣知事夫人光岡幹事松江同縣立高等女學校教師等出席講話ありたるよし。

◎奥村刀自　六月廿三日出發山梨縣地方へ遊說を試み、去にし三日歸京、直ちに福井、石川、富山の三縣へ向ッて出張したり。今山梨縣遊說の模樣を聞くに、廿四日は山梨師範學校講堂にて女生徒教員及び本會員等約四百名を集めて、演說し廿五日は甲府市縣會議事堂に於て、開會し縣知事の紹介にて、登壇し同地在住の高等官及有志婦人凡そ六百名に對して演說し、廿六日より郡部に移り中巨摩北巨摩南巨摩東西八代郡を遊說し、再び甲府市に於て、開會し、婦人の來會者千餘名あり、午後八時より十二時までの大演說を爲したるよし。同地方は官民一致して盡力せられたる結果、約三百餘名の入會者ありたりと云ふ。

◎篤志なる寄附　京橋區尾張町の雜貨商、武村元藏氏は今般愛國婦人會の旨趣を贊成し、金五十圓を寄贈し有功章を受けられたり。氏は現に一年志願兵として、麻布步兵聯隊に入營し在り、今其寄贈の主旨を聞くに氏は曰く我昨年十二月入營の際は父は病蓐に在り、母は健康勝れず、又曾祖母は九十三の高齡にして、家事の手傳をなす能はず、實に困難の場合なりし、然れども兵役は男子の一大義務にして、私事の爲に避くべきものにあらず、依て蹶然起て護國の任務に就きたり。此時に方り、第一に想起したるは國家有事の日には固より一身を犧牲に供せざるべからず、而て名譽の戰死を遂げたる場合に於て、遺族は如何すべき、我は幸に多少の資產を有するを以て、假令病者老者あるも、飢餓の困厄に遭遇することはなかるべしと雖ども、不幸にして資產なき兵士の遺族就中病人老人等を有する者は、如何すべきや、國家の恩典あるも十分の救護をなす能はずとせば此等の遺族は飢餓に陷るの外なかるべし、此頃愛國婦人會なるもの設立せられ、戰死者遺族の貧困なる者を救護すと聞き、欣喜措く能はず、些か金圓を寄贈したる次第なりと、實に氏の如きは得難き慈善家と稱すべし。因云元藏氏の父武村志氣美氏は舊高松藩士にして、夙に實業に從事し、殊に十數年間布哇に移住し、雜貨商を營み大に國益を增進したるの人なりしが、昨年來病に罹り、遂に本年五月廿三日東京に於て病歿せられたりと。又母みよ子刀自は頗る慈善心に富み、近頃育兒院に金五十圓寄贈せられたりと。實に此父母ありて此子ありと謂ふべし。

◎篤志なる幹事の逝去　山梨縣東山梨郡幹事、秀島かめ子氏は、本會の旨趣を贊して、大に本會の爲に盡力じ本會より回送せし趣意書に一々署面を添へて、會員を勸誘せられたる結果、同地方は頗る有力なる會員を有するとて、奥村刀自も大いに喜び、遊說の際面會して其勞を謝せん積りなりし處、此篤志の婦人は、數月前既に死去せしよしを聞き、刀自も大いに遺憾に思はれたるよし。

◎岡山縣の篤志者神原熊吉氏　奥村刀自此程岡山縣下遊說の時、岡山市理髮業取締神原熊吉氏は刀自が演說を聞き、いたく本會の旨趣を贊成し、非常なる奔走を以て同市中の女髮結、梳手共に八百人あるを殘りなく一堂に集め、其刀自に出演を請ひて本會の旨趣を詳悉せしめ、其々得意場なる夫人令孃を說きて入會せしめんとに努めつゝありといふ。さても此女髮結を一堂に集めん爲には熊吉氏が大阪博覽會の見物に出かけるを廢し、其費用に用意せし五十圓の金を投じて此費用に當てられたりとぞ。集會當日に於て女髮結逹いづれも本會の徽章を帶び、各地支部大會の景況に於けるが如く、主立ちたる人々それ〲部署を分ちて斡旋し、いと行屆きたりといふ。尚ほ是等の人々は多數の入會者を紹介し、有功章を得んとて互に競ひあへりとぞ。

◎殊勝なる女生徒　奥村刀自此程千葉縣下遊說の時、某地の小學校長は十一二歲ばかりなる女生徒三名を伴ひ、はるばる四里の道をたどりて、演說を傍聽せしめしに、三人の少女はいたく刀自の演說に感じ入りいづれも親逹より貰ひ受けし其日の小遣數十錢を、互に殘らず寄附せんとを申出て、往復八里の道程を一厘も費さずして歸家せりきとぞ。

◎奥村刀自（栃木群馬）地方遊說日記

六月一日　午後〇時三十分宇都宮に着す、小田切書記官、高崎視學官、鈴木師範學校長の各夫人、宇都宮市長本多錄吉、栃木支部事務員山田種樹の諸氏停車場に出迎はれたり、諸氏の案內にて縣廳附近の白木屋に投ず。午餐後縣廳に出頭し、書記官參事官に面會し萬端依賴す。知事は奉幣使として日光出張中なりき。菅井幹事長及び宇都宮警察署長訪問せられたり。

同　二日　午前七時半菅井知事を官邸に訪ふ。午後二時より縣會議事堂に開會す、小田切書記官の紹介並に贊成演說あり。次て刀自演說ず。聽衆は各學校生徒其他有志者にて凡千名、即時入會者十五名ありき。菅井知事同夫人、小田切書記官同夫人、久保警部長、本多市長、田上警察署長、山田戶田の兩支部事務員田山通譯の諸氏大に盡力せられたり。

同　三日　午前八時三十分宇都宮驛を發し足利町に向ふ、山田事務員案內者たり。菅井知事夫妻、小田切書記官夫妻、市長、警察署長及び警部長母堂等見送られたり。菅井知事は一行に對して種々便宜を與へられ、且つ前橋市警察署長及び清水警視宛の添書を與へられたり。十一時四十五分足利驛に着す、富田足利郡長、三芝長の兩郡書記、和氣郡視學、本居郡會議長警察署長代鶴見氏及び本居猪狩外七名の本會員等出迎はれたり。巴屋に投ず。午後二時より鑁阿寺に開會、聽衆二百數十名、住職山越忍空氏大に盡力せられたり。即時特別會員三名、通常會員十四名の入會あり、通常會員より特別會員に轉ずるもの一名ありき。又富田郡長、本居郡會議長夫妻、猪狩椙氏夫妻諸氏も大に斡旋せられたり。此夜本會員荻野とせ子、相場せき子、武居つる子、猪狩るゐ子、岩根つな子、植松千代金、渡邊はん子、增澤とみ子の八氏は、明日の會場たる佐野町に出張して開場の準備を助け、且つ知己を勸誘すべきとを決議したりと云ふ。

（つゞく）

博覽會にものして　　評議員　侯爵夫人　鍋島榮子

さま〲の人の手わざに進みゆく
み代の光りもみゆるとしかな

汽車中によめる

夏來ても雪をいたゞくふじのねの
雲のたちゐのめづらしきかな

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

婦人論梗概

◉江原素六氏の異例の慈善　慈善の事に就ては吾國の小學教科書には屢之を論せり。然も人を救濟したるが爲に、自己の困厄を來す如きは決して賞すべからずと說き、或は救濟すべき理由を深く究めずして猥りに救助を與ふる時は、被救助者は兎角依頼心を起すものにして、是が爲に却て其獨立心の損失を妨ぐるを以て不可なりと說けり。然れども凡そ何人と雖、自己を困厄の地に陷らしめざらんとする精神なきはなし。故にことさら此の如きを說くの必要はなきなり。抑も慈善とは自己の困厄すると否とに關はらず、到底見逃すべからざる場合には、所謂肌を脱ぎて金を出すと云ふに在り。故にかの徒に口を慈善に藉りて私に自己の爲にするものは、正しく是れ慈善を盜むものなり。云々（婦女文壇）

◉鳩山春子女史の女子と結婚　婦人の職務は夫と一致して一家の幸福を全うするにあれば、結婚後は家庭の調和を害しても尙ほ自己の意思を貫かんとするを得ず。されども子女の教育及び家庭整理の如きは、一家に於ける最も大切なる事柄にして、是等は女子自らその考を決定して、其思惟する通り決行するも差支なかるべし。西洋にては婦人が頻りに社會的事業に奔走し、又自由に種々の人と交際することあれども、日本に於て婦人の此の如き行動は、却て夫の疑を招き家庭の平和を破ることあり。即ち家庭を圓滿ならしむるとは、婦人の唯一の職分と定り居れば、此職分を充たしたる以上にあらざれば、決して社會的の事業に奔走すべからず。又婦人はなるべく快活なるを貴ぶ、快活なれば一家も自ら和睦し、親戚知己との交際も圓滿に行はるゝものなり。勝に男子は結婚により其價値を減し、女子は其價値を增すと云へり。是れ婦人は結婚前よりは大に智識を啓發し、人情を研究するの餘地あるによる也。故に假令不幸なる婚姻と雖、決して之に對して不平の念をいだかず、却て自己の心を磨き品性を高むべき好機なりと觀じて耐忍すべきなり。云々（成功）

◉二六新報記者の慈善說　廢棄物は必ずしも高價の食品に限らざる如く、慈善とは必ずしも多額の寄附金の謂ひにあらず。圓滿なる世界に慈善なく、慈善あるは即ち社會の缺陷を補ふに過ぎざるなり。而して慈善は必ず主人の嚢底を探らざるも、細君の些細なる注意によりて容易に行ひ得べし。今其方法の一二を揭げんに、第一に細君たるもの各自に廢物利用の法を知るにあり。歐米に於ける家事經濟とは理化學を家事に應用したるものにして、蓋て經濟學の一部をなすものにあらず。吾國の婦人は理化學的知識なきが爲、無用の費へを覺らざるなり。故に今後家庭の主婦たるべきものは、此知識を得ると共に注意し、廢物利用を試みて以て慈善の資となすべし。第二は世の細君たるもの聯合して廢物を利用するにあり。即ち聯合して慈善會を作り、數百戸各其廢物を蓄へ置き、時日を定めて屑屋の如きものに每月を巡回せしめ、蒐集せしものを直ちに販償の資となすなり。如此細君の神妙なる心掛け如何によりて、偉大なる慈善事業も容易に之を行ふを得べきなり。云々

雜報

◉東京音樂學校　同校本科卒業生には音樂得業士の稱號を認許することとなり、今十日本科卒業生六名のため卒業式を擧行する筈なるが、今回の卒業生は女子四名男子貳名なりと云ふ。

◉體操學校の女子部　日本體育會內體操學校には女子部普通科生徒三十名を募集するよしにて、出願期は七月末日迄なり。尙卒業者は府下に限り無試驗にて教員檢定の資格を得ると云ふ。

◉共立女子職業學校の名譽　神田一橋の共立女子職業學校は明治十九年の設立にかゝり、女子に適當なる職業を教授し多數の婦人をして職に就き身を立つるを得しめたる其成績は誠に著く、隨ッて時々皇室よりも製作品御買上の命をも蒙りし程なるが、先頃第五回博覽會に、同校の製作品其他經營の沿革及び統計表を出だせし處、今回審査の結果、一等賞を授與せられたり。全國多數の公私立學校中同校が獨り一等賞を得たるは、眞に限りなき名譽と謂ふ可し。

◉岡山孤兒院の名譽　內國博覽會に同孤兒院の現况一覽、及同院寫眞を出品せし處、審査の結果、一等賞を贈與せられたり。

◉慈善旅行　時事新報社の催しにかゝり、每年好成績を得たる慈善旅行は、本年其第四回を催すこととなり、本月四日男子部百名を率ゐて箱根塔の澤に淸遊を試みたり。而して引續き女子部旅行をもなさしむる筈なるが、從來の監督者潮田女史逝去につき、小崎千代女史に監督を依頼したるよし、尙ほ同會の費用は素より慈善家の寄付金より支出する者なるが、本年は江湖の義捐少くして七月二日までに僅に三十四圓五拾錢のみなりしかば同社にては前回及び本年一月慈善新年會の費用の剩餘を以て支出する事としたりと云ふ。

◉博覽會慈善見物　大阪每日新聞社の催しにて、今回同市內貧民の兒童を集め、新らしき衣服を着せ、辨當を與へ、博覽會を無料にて、一日見物せしむる企を爲すよし。

◉動物虐待防止會婦人部　同會婦人部は去月廿五日午後一時より九段坂下日本體育會に於て第一回例會を開きたるが、來會者凡そ百名にして男子部よりは廣井辰太郎、高島平三郎、本田增次郎の諸氏來會し、動物虐待防止に關する有益なる演說を試み、終ッて別席にて婦人部の規約を定め每月一回第一土曜日に於て日本體育會樓上に集會すること、評議員二十七名を選定すると及び男子部の組織の如く最も社交的に會合する事を決議して散會せり。尙本月四日に第二回を開き大內靑巒氏も出席せられたり。

◉女學生白鉛禁止會設立　報知新聞社が三ヶ月前其社說に於て女學生白鉛禁止論を發表せし以來贊否の說について、日々書を寄するもの多くその數三万餘通に達し、兎に角社會の一問題として研究せらるゝに至りしを以て、此度同社は題號の如き會を組織したり。發企者には巖本明治女學校長を始め各地の敎育家あり、名譽會員には同論贊成者を推薦し、正會員には自ら禁粉を實行せる女學生に限り入會せしむる仕組なり。

◉裁縫術夏期講習會　帝國教育會內の女子裁縫高等學院にては小學校及高等女學校に於ける教授法改良其他の目的にて、八月二日より同廿八日まで夏期講習會を開く筈なり。

◉治庖會の夏季講習會　牛込區南山伏町二十番地の治庖會本部にては、例年の如く本月廿七日より和洋割烹夏期講習會を開く由。

◉女子作法割烹夏期講習會　京橋區鈴木町大日本禮節學會にては、來る八月一日より十二日まで標題の如き講習會を開く。會場は帝國教育會內なりと。

◉兒童遊戲夏季講習會　日本橋北新堀町東京兒童遊戲研究會にては、本月廿五日より神田猿樂町東京中學校に於て遊戲講習會を開くよし。

◉薙刀體操講習會　牛込天神町武術體操講習會にては、八月三日より日本體育會內にて講習會を開くよし。

◉音樂遊戲夏季講習會　東京音樂學校教授山田源一郎氏外數名講師となり、神田の帝國女學校內に、唱歌及音樂理論遊戲舞踏オルガン等の夏季講習會を開設するよし。

◉夏期女子講習會　東京府教育會に於ては、教員たるに必須の學力を補充し、並て一般女子の爲に新智識を得しむる目的を以て、八月一日より二十一日迄、神田橋外元第一高等女學校內に夏季講習會を開く。學科は教育（下田文學士）國語（國分操子）音樂（小山作之助）應用化學、裁縫教授法等なりと云ふ。

◉夏期農業科講習會　東京教育會に於ては、八月一日より三週間同會を開き、男女に拘はらず入會を許すよしにて、學科は橫井博士の農業汎論、佐々木博士の養蠶學等なり。

◉日本體育會の講習會　高等女學校體操科志願者の爲、體操遊戲の講習會を、七月二十三日より一週間、大阪市南區西關谷町日本體育會支部內に開く趣なり。

◉國語夏期講習會　中學校師範學校高等女學校教員志願者及び該學科研究志望者のため、來る八月三日より三週間、元園町二丁目愛國女學校內に開設すべし。講師は木村正辭井上賴圀丸山正彥等の諸氏なり。

◉下婢に菓子製造業を習はしむ　評議員醫學博士夫人佐藤靜子氏は、永く召使ふ下婢共が、給金の外何の得るところなくて已まんは、氣の毒なりと、隔日に菓子教師を雇ひて、菓子の製造法を敎へ、獨立の職業を得しむることに盡力し居らるゝよし、中央新聞に見ゆ。

◉事務員としての女子　近來女子の職業を求めんとする者多きは著しき事實にして、曩に電話交換局が三人の事務員募集を廣告せしに之に應じて申込みたる者三百餘名あり、又此頃三井吳服店にて女子店員採用の廣告を爲したるに是亦五百名の應募あり。其中にて僅に廿餘名だけ採用せられたる有樣なり。扨三井吳服店に於ける成績に就て聞く所に依れば、女子の事とて一般に理解力に乏しく從ッて應用の働きは無けれども、若し一定の方式を示して方式通りの事を爲さしむる時は諸事綿密にして頗る著く適當せり、然るに一つ意外なるは客に接して愛嬌却つて男子に及ばざるの一事なりと。

◉日本婦人波止場に於て婚禮す　先月四日の朝布哇の波止場に於て、日本人九組の結婚式を行ひたる趣きなるが、其理由を聞くに、日本にては結婚屆を戶籍吏が受理すれば、此に正當なる結婚は成立し、本國に於て正當に結婚したるものは、何れの國に至るも其結婚を認めざる可からざるは、國際私法上の法理なるにかゝはらず、米國に於ては、之を認めず、正式の結婚式を擧げたる事を要件とするよしにて、移民局長の計ひを以ッて日本より來たりし新婦が上陸後直ちに、其夫なるものを呼出し、正當なる儀式を行はしむる事となしたるよしなるが、其模樣は同日同地滯在日本人十數名、親戚幷に賓客となり、式に臨み、移民局長は新婦新郎を呼出し、夫婦の承諾を與るや否やを確めし上、認許狀を下付し、牧師は神の惠みに依賴し幾久しく睦みを爲すべき由を宣誓せしめ、九組の男女は、握手の禮を交へ、愛度結婚式を終りたるよし。

◉樂書消拂の建議　牛込區赤城高等小學校長森利平氏は、今回敎育上公德養成の一端として、同校生徒をして市中諸所の門墻に散在せる、樂書を消さしめんとの屆を其筋へ差出したるが、元來彼の樂書なるものが兒童の不謹愼を表白するのみならず、市街の美觀を損すること甚だしきは、一般に認むる處なれば、其筋に於ても直ちに此擧に贊成し、消拂に成べく便宜を與ふる事としたる由。

◉運動場公開の建議　東京市に於ては、市內の公立小學校の運動場を放課休業の際には公開し、一般の人民に使用せしむることゝなりしが、全國に於ても繁華の土地にて、人民の運動場少き所は、此例により、公開すべき旨、日本體育會長より各府縣へ建議せしよし。

◉市內公園の運動器械　日本體育會にては昨年六月以來市內各公園內に運動器械を配置し、體育を普及せんと計畫し、既に上野、淺草、深川、芝、日本橋の五公園內に第一期の設營を了したるを以て、更に既設の場所には之を增設し、又は改善をなし、新設の日比谷公園にも既に設置の出願中の由。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

横井玉子女史著

(新刊) 家庭料理法

(寫眞版八枚入菊判洋裝全一冊)

上製 六十錢 郵税十錢
並製 四十五錢 郵税八錢

三度〳〵の食物を安く旨く且つ輕便に味はんとするには、一通りの料理鹽梅を心得置かざるべからず。本書は故横井玉子女史が多年の經驗上より、四季折々の日本料理、西洋料理、もしくは折衷料理など、有合せの器具にて購ひ易き原料を用ひ、好むがまゝに試み得べき最も輕便なる諸種の調理法を、極めて親切に通俗に詳記したるもの、固より坊間濫出の料理書類とは其選を異にす、蓋し一般家庭に於ける厨の寶典也。

東京神田 冨山房 裏神保町

●下田歌子先生著

家政學講義

定價金四十五錢(第三版發行) 郵税金六錢

婦人界

七月一日發行 第二卷第二號 定價廿錢 郵税二錢

口繪 梶田半古筆「培ひ」額面用石版極彩色

遊戯問題

吉村寅太郎●鷲山彌生子●佐藤愼太郎●井口あぐり●巴子●奇峯生●桃葉女史●平尾不孤諸氏の卓拔なる意見趣味ある文章を載す

社會欄及家庭談

公使の夫人……千葉紫艸
外國の禮式に就て……寺屋村朔北
老婆と少女の自殺及び他殺(上)……内山懐夫
其の他數篇あり

後藤新平▲竹越三叉▲佐々木博士▲大岡育造▲澁澤榮一諸氏の家庭談

家庭欄

蟬の話‖富益農學士●絹の話‖井上農學士●許嫁の重荷‖鈴木文學士●春や昔‖森しづか●笠置落‖泣菫●瞽法の話‖小杉博士●密蜂の話‖さなへ生●鰹料理●素人料理

附錄

婦人問題雜感……横井時雄
婦人の勇氣と儉德……池田樂天子

次號の附錄

新夫妻……德田秋聲
里がへり……米光關月
湖畔の家……生田葵山
小品數種……國木田獨歩
母を懷ふ……齋藤吊花

發兌元 東京本町 金港堂書籍株式會社

●再版●●●東京鎌ヶ淵病院長橋本善次郎先生著●●●

衛生一夕話

洋裝全一冊 紙數百五十頁 定價金卅五錢 郵税金六錢

本書目次

衛生とは何ぞや○體温○空氣呼吸○營養分○飲食物○食事衛生○飲酒及喫煙○衣類及寢具○日本服改良の要點及履物の缺點○住地及家屋○運動及睡眠○温浴及冷浴○海水浴及海氣浴○學校衛生に關する個人の注意○家畜と衛生○花柳病の感染及後害○結婚及遺傳○肺結核の蔓延及豫防○流行性傳染病の個人豫防

東京神田 冨山房

第三卷第七號 七月十五日 發行

毎月一回十五日發行 毎號紙數百四十頁 定價十五錢全國無遞送料

本誌の特色

◎本誌の目的は、婦人をして常識に富み、世態に通じ、以て其本分を完うせしめんことを期するに在り。されば其所說、新に流れず、舊に泥まず、一宗一派に偏らず、而も世に阿りて、徒らに俗流の歡心を迎へず。◎本誌は輕佻浮華の弊風を避けんが爲に、表紙口繪など、不要の裝飾を省きて、専ら記事の精選を努む。◎本誌に收錄する所は、普通の婦人雜誌に掲載する、文學上家政上の記事のみに止めずして、●科學の大意を掲げて、學理の概念を得しめ、●和漢洋名著の綱要を掲げて、諸書の涉獵に便せしめ、●法制理財等の事を平易にものして、世態に通ぜしむ。◎本誌は、野卑なる言辭及び劣等なる戀愛文字を避け、下品なる廣告を掲げず。◎本誌は勤儉貯蓄の美風を獎勵せん爲に、毎號懸賞貯金切手を附して、其模範を示す。◎本誌讀者は、みやび會員となり、其歌・文を本會に送附して、名家の批評添削を受くることを得。

發行所 麹町下二番町三七 電話番町(一三三〇番) 大日本女學會

全國有名小間物店にあり

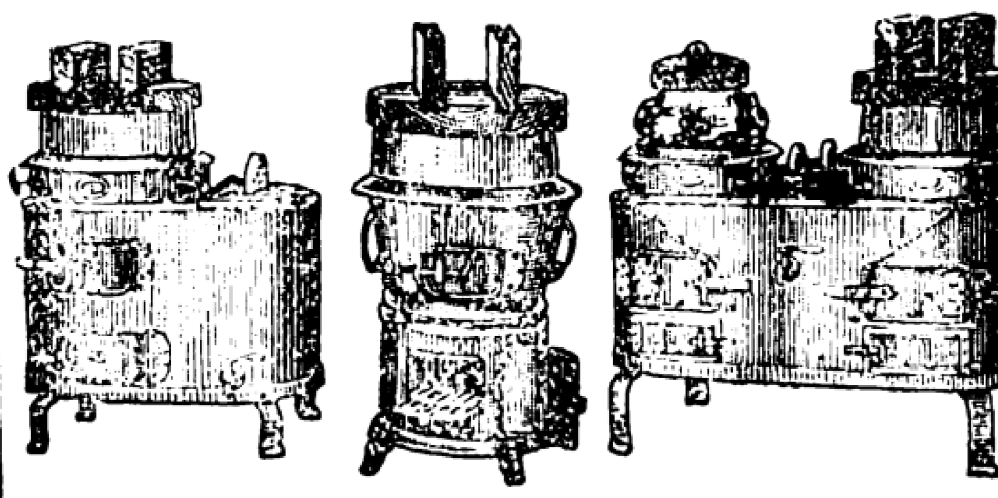
定價 壹袋壹錢 罐詰五錢

此名題洗粉は皆々樣の御引立に依り益々盛大に相成難有仕合に奉存候然るに近來諸方に名題洗粉の摸造品澤山顯はれ候に付弊舖製造品には袋の裏面に芝居梅形の登錄商標を相印し御座候間何卒御求の節は篤と御熟覽の上多少に不限御用向の程偏に奉希上候也

東京淺草區黒船町 梅素亭謹製

(電話下谷二百三十四番)

新案兩炭用 富貴竈 専賣特許



本器は世間在來改良竈の不備の點を悉く完備したる構造にして製作の精良堅固なる未だ會て其比を見ず眞價は實驗にて知り給ふべし說明書は御一報次第進呈す
○販賣店は全國到る所にあり

輕銀 アルミニユーム製食器

衛生と經濟に宜く無害高尙優美なる器具なり

發賣元 東京淺草區茅町淺草橋際(電話下谷一九二三) 阿部彦四郎商店

代理店 大阪市博勞町四丁目 万年九平　横濱市吉田町一丁目 内田甚兵衛

醫院案内

院長 醫學博士 ドクトルメヂチーネ 榊順次郎

婦人科產科榊病院

診察午前 入院隨時 東京麹町三番町廿三 電話番町三百九十五

●水原產科婦人病院

○所在神田區猿樂町十二番地(電話本局千七百〇九番)○外來診察午前中○入院往診隨時○同院に私立產婆學校の設あり

耳鼻咽喉科院

院長 ドクトル 山上兼輔

四谷區本村町三十七番地 電話番町七三〇(士官學校前)

診療時間 毎日午前八時より十二時迄午後六時より七時迄○日曜大祭日は午後休療往診の需に應ず

東京小兒科院

駿河臺西紅梅町(電話本局一九五五)

院長 醫學博士 瀨川昌耆

東京產科婦人科病院

院長醫學博士 濱田玄達
副院長醫學士 辻高俊

神田駿河臺袋町(電話本局七百三四)

内外科泌尿生殖器科

醫學博士 佐藤進
醫學士 佐藤佐
同 佐藤恒久
同 佐藤達次郎
醫學博士 田中苗太郎
醫學士 岡久津三郎
醫學士 吉平明七郎
醫局員 菅野徹三
同 前田利雄
同 笠間大作

各科專門ノ醫士分擔シテ診察ニ從事ス
毎週月水金午後一時ヨリ貧困者ノ爲メ施療部ヲ設ク

順天堂醫院

(本郷區湯島五丁目お茶ノ水) 電話本局二六九番

瘰癧 ◎◎最新療法◎◎

切開ヲ要セスシテ根治ス ○心臟病 ○脚氣

千葉内科專門院

神田區三崎町三ノ一 西通リ二十五

診療 院長出診時士曜日午後、入院診斷之上隨時應需

外來入院隨時

內外科眼產婦人科耳鼻咽喉科皮膚病梅毒淋病

深川平久町角

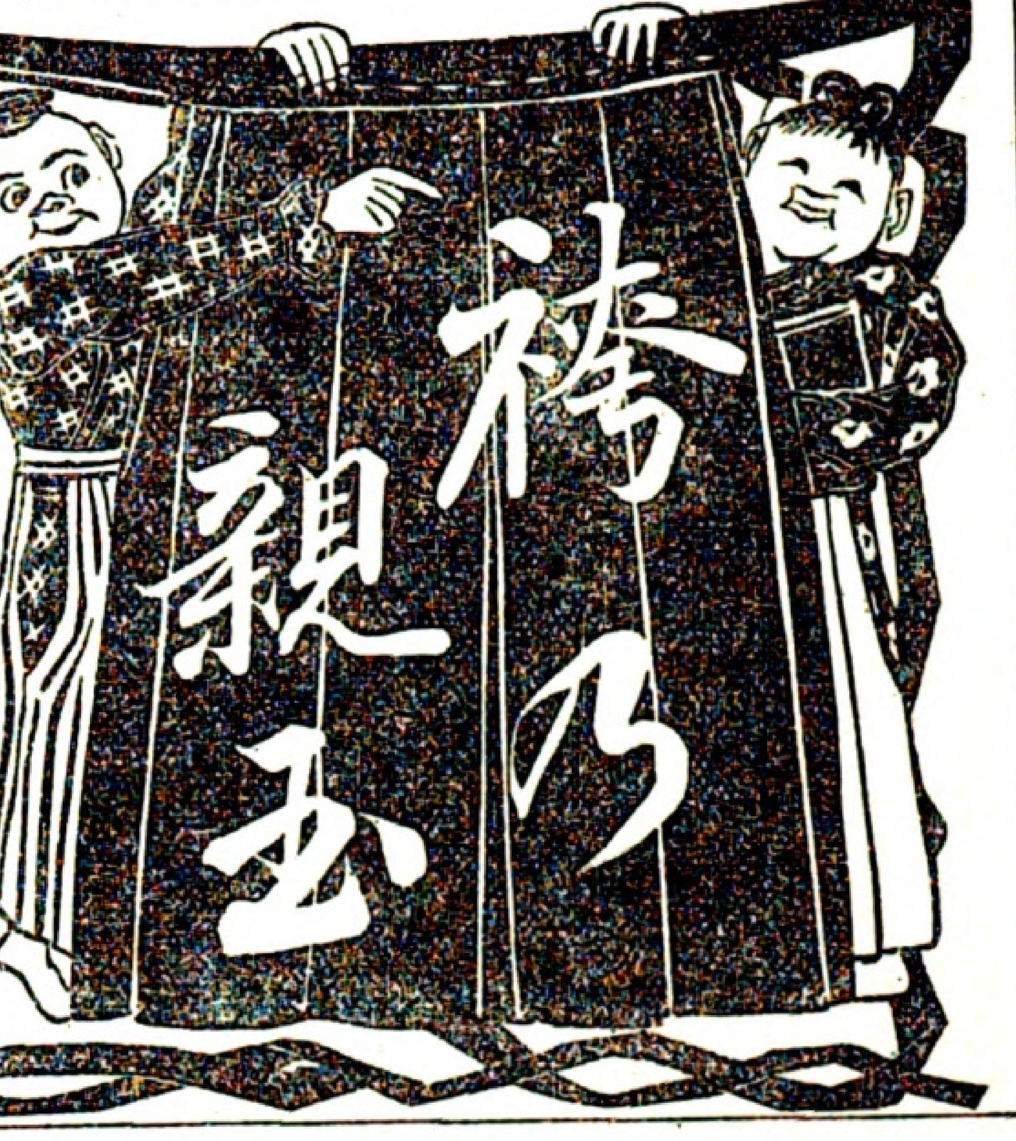
深川 養生病院

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

◎特約販賣店

◎東京堂　神田區表神保町三番地

◎東海堂　京橋區銀座四丁目



本店 東京日本橋區長谷川町貳番地

御部 美濃磯本店

電話浪花二八五九

電略ミイツ

小賣部

芝區新櫻田町九番地 (美) 小田商店

本郷區本郷五丁目十五 電話下谷一四一五 美濃磯本郷支店

牛込神樂坂町二丁目八 (內) 伊澤商店

淺草區諏訪町廿貳 美濃磯淺草支店

四ツ谷傳馬町二丁目 (內) 伊澤支店

全國各學校徽章賞牌ハ弊店ノ獨專業ニ有之候　價格表ハ御報次第呈送ス

日本帝國徽章商會

東京市麴町區飯田町三丁目　電話番町八百五十七番

ヴヰヲレット製　**壽美花おしろい**

伊勢吉　壽香堂製

定價 大瓶二十錢 小瓶十二錢

定價 大瓶廿五錢 中瓶十五錢 小瓶十錢

西洋色白くなる洗劑　**壽美花あらひ粉**

東両國 伊勢吉 壽香堂

定價綠蠟紅彩蝶番ひ罐詰六錢五厘ホックス入三錢袋入壹錢

盃類圖案一班

（金、銀、輕白金、白銅、安質母尼杯及木盃製作應用）

●玉田先生畫

山海圖

功收ノモ大ル賀道ス

勞彩最洪ナ觀ニ用

東京市京橋區尾張町二丁目十六、十七、十八、十九番地

時計寶玉類貴金屬美術品及各種銃砲火藥商

天賞堂（特電話新橋三三三）

天賞堂出張所々在地

●東京市神田 ●長崎臨時 ●名古屋臨時 ●大阪市 ●廣島市 ●熊本臨時 ●長崎市 ●小樽臨時

●無料贈呈　天賞堂營業一覽（送費四錢）

中元御進物用

紳士貴婦人用　高等香油　**チェリーオイル**

定價 大瓶八十五錢 中瓶四十五錢 小瓶二十五錢

チェリーオイルヲ常に御用ひに相成れば洗髪の如く更にねばり氣なし殊に惡臭を去り拔毛を防ぎ惡癖を直し如何なる赤毛も黑漆の如く艶を出し衛生上無二の香油なり

東京市日本橋區本町二丁目十五番地

日本直輸入元　**高橋初次郎**（特電話本局四一二三番）

●全國到る處の小間物化粧品賣藥店に販賣致居候

○七日より十五日迄 **中元大賣出し** 御景品進呈

○**夏半ゑり帶揚類** 縫無地色 絞り染形

○半ゑり三掛組合せ **大見切** 帶揚帶側外數種

贅澤染中形小柄 **浴衣地** 眞岡縮木綿紅梅織 見切品もあり

○高等洗粉 **チェリー** ○すゝめ形 ゑり治形 **まげ入**

新橋竹川町十二　電話新橋二〇二七　**ゑり治**商店

婦人最良藥

子宮病血の道 産前、産後の諸症に種々の藥を用ゐて其効なく久しく病床に苦しむ人は本劑を試みよ

●**如何なる難病**も二三週間に**全治**す

●詳しき効能は大廣告の時御注目ありたし

定價 一日七錢五厘、三日廿錢、一週四十五錢、二週八十五錢、三廻り一圓二十五錢

●本舗へ御注文の方は病人の容躰御申込あれ

本舗　東京日本橋通四丁目　津村順天堂

大阪堺筋鹽町北入　津村順天堂

中將湯は全國各藥店にあり

生徒募集

本校豫科及乙種師範科生徒を募集す入學志望の者は入學願書に履歴書及戸籍謄本を添へ來る八月廿日迄に願出づべし

但募集人員及入學手續等は六月六日官報廣告欄にあり●規則書を要する者は郵劵二錢を添へ本校に申出ずべし

明治三十六年六月

東京音樂學校

◎**東京女醫學校廣告**◎

本校は明治卅三年の創立にして爾來志望者日を追ふて增加し漸次改善を加へ校務益々整頓せり此際一層の擴張を計り汎く生徒を募集す志望の姉妹は至急入學願書を差出さる可し

嚴重なる監督寄宿舎の設あり

東京市麴町區飯田町四丁目九番地

東京女醫學校事務所

●婦人科 ●小兒科 專門

東京市麴町區飯田町四丁目九番地

女醫 **鷲山彌生**

婦人ふるちの藥

定價一貼五錢三貼十四錢五貼廿三錢七貼三十二錢

一此藥劑は婦人血の道一切の藥にして持血を補ひ古血をめぐらすとかんようにして少しも脾胃にさわることなく血を下すにてはなく血をみちびき通ずる藥なり第一月々めぐり少き婦人はたッぷりと見るなり數年古血滯りある婦人は其のふるちのかたまり殘らずつうずるなり●○南まけづつう目まひによし○ふるちとぃこほり○ながち○しらち○手あしゝびれ○血しやく○ひゑるときさしこみいたむに功あり○むねこしいたみ○つぎむしによし○さんごあとはらのいたみはいかほどつよきいたみにても一ト包にて功あり○さんごわるちのとどこほりに用ひて功あり○精能書にくわしくしるす

東京市本所區東兩國横網町一丁目

本家製藥所 (合) 發賣店 **伊勢吉本店**（電話浪花二七五八）

正四位勳三等醫學博士 三宅秀先生著

大日本女學會發行（日本女子大學校教科書）

家事衛生

總クロース綴ち金文字入り菊判二百四十頁定價金六十錢郵税金六錢

此書は文部省學校衛生顧問內務省中央衛生會委員元醫科大學部長なる三宅博士が文部省の囑託により講義されたるものなり書中に衣服食物住居育兒看病の五編ありて我國一般の民度に應じ何れの家にても實行に差支なき樣懇切に說示されたり世に類なき家庭主宰者の寶典なり

●**賣捌所**　東京神田區一橋通町七　**有斐閣**

明治三十六年七月十日發行（毎月十日廿五日二回）
明治三十五年三月廿七日第三種郵便物認可
發行兼印刷人 山澤俊夫
編輯人 手島益雄
發行所 大日本女學會內
印刷所 東京市牛込區市ヶ谷加賀町一丁目十二番地 株式會社秀英舍第一工場

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

愛國婦人第三十三號附錄

評議員
陸軍中將男爵大迫尚敏夫人大迫とき子

石川縣支部幹事長
石川縣知事村上義雄夫人村上須磨子

富山縣支部幹事
元貴族院議員高廣次平夫人高廣さつ子

明治三十六年七月十日發行（每月十日廿五日二回）
明治三十五年三月廿七日第三種郵便物認可

發行兼印刷人 山澤俊夫 編輯人 手島益雄 發行所 大日本女學會內愛國婦人發行所
印刷所 東京市牛込區市ヶ谷加賀町一丁目十二番地 株式會社秀英舍第一工場

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN